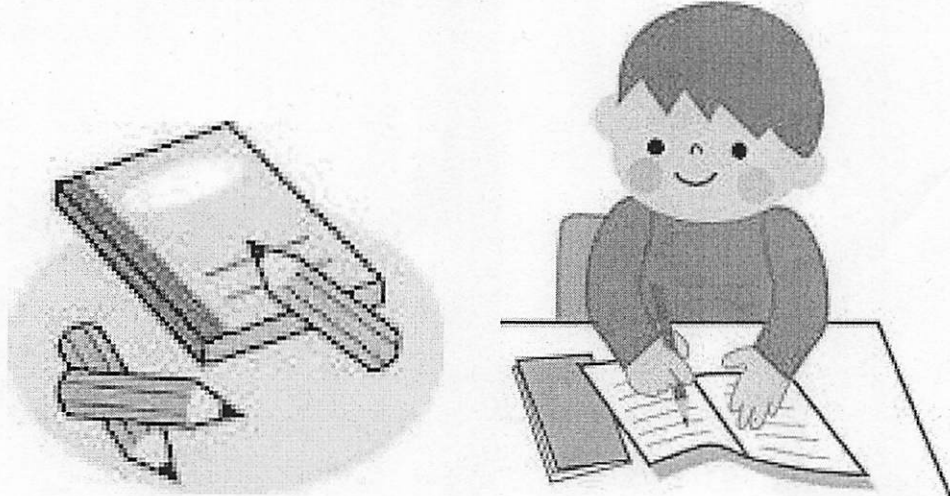


平成28年度  
～辰中家庭学習「貫練」～

# 家庭学習のやり方



◇◆◇毎日の家庭学習のやり方  
力がつく方法を教科ごと紹介◇◆◇

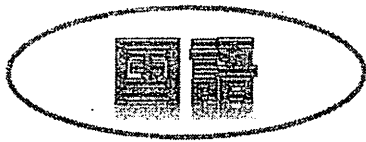
## この冊子について

- ①この冊子を使って、国語・数学・社会・理科・英語の教科担任の先生方が家庭学習のやり方を説明していただきます。
- ②5教科の全員の先生から、説明をして頂くまでは、この冊子を毎日学校へ持ってきてください。
- ③5教科の全員の先生から、説明を頂いたら家に持ちかえり、家庭学習の手引きとして使用してください。

年 組 番 氏名

---

辰野中学校



## ◇家庭学習のやり方 ～漢字練習(平日月～木)について～

### ○漢字練習についての説明

漢字テキスト『常用漢字』を使って、小学校1年生から復習していきます。テストでは以下の範囲が出題されます。定期テストに向けて、授業の中で範囲内の小テストを10問ドリルで確認していきます。

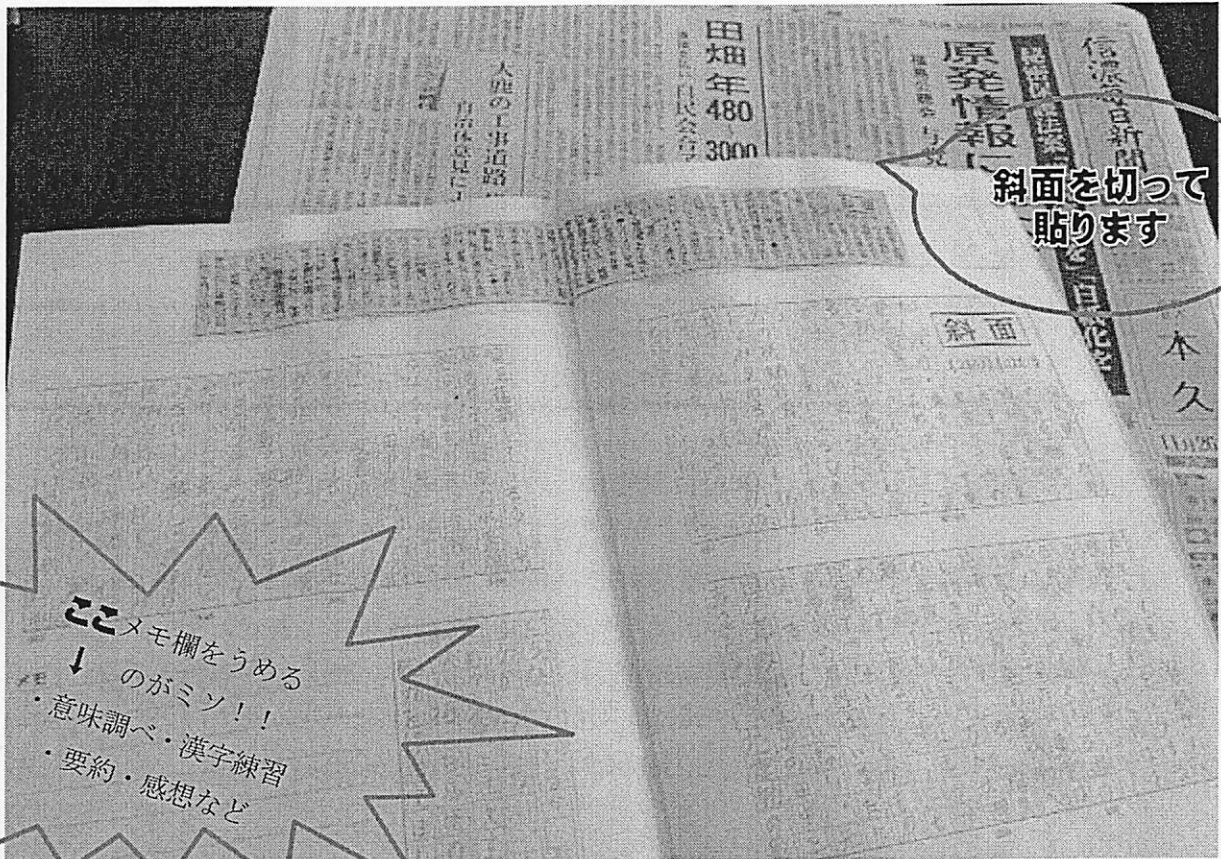
	総合① 5/24	1期末 総合② 6/30, 7/1	総合③ 8/25	総合④ 9/16	2中間 総合⑤ 10/13, 14	2期末 総合⑥ 11/21,22	総合⑦ 1/10	3期末 2/16,17
1年		小1～3			小3,4	小5		小6
2年		小1～3			小4～6	小5,6		中1
3年	小3～5	小4～6	読み中12 書き小56	読み 中3 書き小56	読み小中全 書き 小全	読み小中全 書き 小全	読み小中全 書き 小全	全範囲

- ① 150字以上の漢字のノートを用意して下さい。
- ② 日付とページ数(ノートの)を書きます。
- ③ 『常用漢字』の1ページの中から書けないもの、読めないもの、テスト・ドリルに出そうなものを選んで、初めの1回は色ペンを使ってノートに書き写します。
- ④ 読み方のわからないもの、意味のわからないものは、書き加えます。
- ⑤ 漢字は文章で練習しましょう。自分でドリルをするなど、覚えやすい工夫をしましょう。
- ⑥ 1日1ページで良いので毎日続けましょう。

## ◇家庭学習のやり方 ～斜面ノート(週末金～日)について～

### ○斜面ノートについての説明

漢字ノートの代わりに、信濃毎日新聞の『斜面』を書き写す学習を行っていきます。朝日新聞の『天声人語』など類似の記事でも構いません。良い文章を書き写すことで、語い力を高め、読解力の向上に役立ちます。詳しくは各教科担任の先生の指示に従って下さい。



- ① 最近の新聞記事から『斜面』を切り取り、ノートに貼ります。  
※新聞がない場合は国語準備室前にあるコピーの中から選んで持ち帰るようにして下さい。
- ② 文章を書き写します。
- ③ メモ欄を必ずうめます。  
・意味調べ・漢字練習・要約・感想のいずれか(複数可)できちんとうめます。
- ④ 漢字練習3ページ分(金、土、日)に値します。

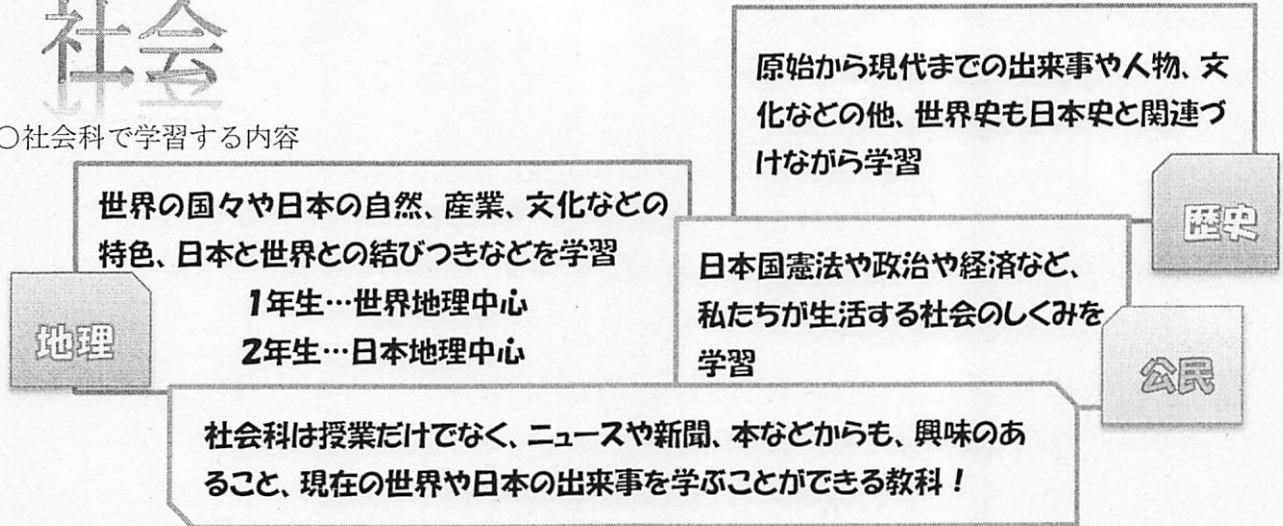
### その他のポイント

自分のレベルに合わせ、1つでも多くの漢字が書けるようになる家庭学習を積み重ねて行きましょう。  
トメ・ハネまで丁寧に書くくせをつけましょう。目安として最低20分は時間をかけるようにしましょう。



# 社会

○社会科で学習する内容



○家庭学習について

前の授業の内容は、次の授業で確認します。復習の習慣化を！

- ①授業で学習した範囲の教科書を読み、内容を理解する。
- ②ノートを見返し、要点を整理する。
- ③学習用ノートに、重要語句を書いて覚える。
- ④学習した範囲のワークブック（問題）に取り組む。

→ワークブックは授業でのテストなどにも活用するので繰り返し取り組む。

学習をする時は教科書、地図帳、資料集を必ず使おう！

授業用ノートとは別に、学習用のノートを用意するといいいね！



テスト直前に、一時的に覚えた内容は、時間が経てばその多くを忘れてしまいます。3年の総合テストが始まってから苦労しないように、1、2年のころから、日々の積み重ねを大切に、繰り返し学習することで、確かな学力を身につけていきましょう。



学習を行う際のポイント！

- ・社会科は暗記が全てではないが、重要な用語は覚える必要がある。
- ・教科書に漢字で書かれているものは、漢字で覚える努力をしよう。
- ・学習をする時は、用語だけではなく、地図、資料を必ず用いて理解を深めよう。
- ・ワークブックには、直接答えを書き込まない。  
学習用ノートに解答を書き、繰り返しワークブックを利用できるようにしていこう！
- ・単元プリントは受検勉強で利用できるように保管をする。  
ワークブック同様、繰り返し行うことで基本の定着を図っていこう！
- ・時間をかけてまで問題文を書き写して解く必要はない。  
その分、繰り返し問題を解いていくことの方が重要！
- ・用語カードを作って学習するのも工夫の一つ！  
毎日の復習の中や、単元の学習ごと余裕をもって作成をすると効果的！
- ・学習のまとめのポイント  
地理分野…地域ごとの特色を白地図にまとめる  
歴史分野…その時代の年表を作成する  
公民分野…しくみや組織、流れを図にまとめる

各分野の学習について



①地図で場所を確認しよう。

自然（山、川、平野など）、国名、県名、都市名など、常に地図を用いてその位置を確認し覚えていこう。

②統計やグラフを活用する力をつけよう。

主な農産物の生産量、鉱産資源の産出量などの上位の国や都道府県、特徴的な国や地域などに着目！教科書に出てくる資料は必須！

テストでは資料の読み取りに関する問題も多く出題されるよ！

③暗記だけではなく、ものごとを関連づけて理解しよう。

用語、資料などを関連づけながら理解していこう！

<例>アメリカ合衆国の農業



アメリカ合衆国はどのようにして「世界の食料庫」と呼ばれるのか？

大量に農産物を生産し、輸出している！

どのように大量の農産物を生産しているのか？

どのような農産物の生産量や輸出量が多いのか？

統計資料で確認！

企業的な農業→企業的な農業とは何か？

④計算問題に慣れておこう。

時差の計算、実際の距離の求め方、割合、人口密度など…

歴史



①歴史の流れをつかもう。

時代の節目や重要なできごとの年代は覚えておくと便利！

年代をすべて覚える必要はない！時代ごと、歴史の流れを覚えていくことが重要！

<例>日本の開国から江戸幕府の滅亡

ペリーの来航→日米和親条約→日米修好通称条約→安政の大獄→倒幕運動の高まり

②時代ごとの政治、経済、外交（貿易）、文化などの特色をつかもう。

関連する資料にも必ず目を通して覚えていくことが重要！

③歴史の舞台となった場所も重要！

必ず地図で確かめて学習をすること。

④できごとの「原因」と「結果」を考えよう！

歴史上のできごとは、必ず原因と結果がある。「いつ・だれが・どうした」だけではなく、「なぜ、そうなったか」、「その結果、どのような影響があったか」ということを考えて学習することも大切。

⑤年表を使用しながら理解しよう！



つながり意識して読んで覚えよう！

歴史上のできごとはつながっている！

公民



①新聞やニュースに関心を持とう。

公民の学習内容は現在の社会のしくみについての学習。日頃から社会の動きに関心を持ち、学習に役立てていこう。

②日本国憲法の重要な条文は暗記していこう。

③図を用いた理解を深めよう！ 三権分立、議院内閣制、三審制、租税など…

④現代社会が抱えている課題や、その課題に対する取り組みについて考えよう！



どうして世界各地でテロや紛争が起きるの？ なぜ消費税が増税されるの？



## ◇家庭学習のやり方 ～宿題プリントについて～

### ○宿題プリントについての説明

数学ではプリントが宿題に出されます。このプリントが渡される日は学年毎に違いがあるので注意しましょう。また、各学年土・日など休日は提出ノートを行うこととなります。

3年生…毎日 ※条件がある場合があります。

詳しくは教科担任の先生から伝えられます。

2年生…月・水・金の基本週3回

たとえば金・土・日はプリント1枚と提出ノート2P分が宿題になるね。



2, 3年生は昨年度同様

- ① プリントが配られた日に家でプリントを行う。
- ② 翌日の朝のうちに数学係に提出する。
- ③ 係が1時間目開始までに数学準備室にもってくる。
- ④ 先生が採点するので4時間目終了後、係が全員に返す。
- ⑤-ア 返されたプリントが満点だった人はそれで終了です。おめでとう！ また次回も頑張りましょう。
- ⑤-イ 返されたプリントが満点でなかった人は… 昼休みに間違えたところを直して3学年室へ持ってくる。再度採点を受けて満点になったら名簿に丸を付けて終了！

1年生…火・木の2日だけプリントが出ます。ただし、最初のうちは先生による答え合わせや昼休みに持ってくることはありません。プリントの裏面に答えがあるので自分で答え合わせをして次の日に提出するようにしましょう。

#### 〈学校生活に慣れた頃から…〉

やり方が上の四角の①～⑤と同じになります。いつから始まるかは教科担任の先生からいずれ伝えてもらいます。

### ☆宿題プリントで「わかる・できる」ようになるには…

- I プリントで分からなかった所は友達に聞く！
  - 後で…は取り組まない言い訳。その時、その瞬間を大切に！
  - 朝、わずかな時間を使って分からない所を友達に聞いていくうちに苦手な所を克服していったAさん(仮名)。「ねえ、これどう考えて解くの？」の一言が大切ですね。
- II 友達の答えの丸写しは行わない。例え全部できなくても1問でも多く自分で解く！
  - その精神が入試を乗り越える力になる！

### ★宿題プリントについての注意点

- ・プリントを「家に忘れた」「行い忘れた」場合は数学準備室前の棚の中にプリントがあるので持っていき行いましょう。必ずその日の内に全員提出する、が原則です。
- ・昼休みは採点よりも「生徒会活動」「給食当番」を優先しましょう。尚、その場合は放課後にプリントを教科担任の先生に直接渡しましょう。給食を食べるのが遅くて昼休みがなくなってしまった人も同様です。

### ◇Wトライはどう使う？

各教科担任の先生から詳しく説明がありますが、たとえばこんな使い方になります。

- 1 決められた期日までに決められたページまでを行う。
    - 直接書いても良いですし、ノートを別に作ってもいいです。ただし、必ず答え合わせをすること、間違えたらやり直しをすることを忘れずに。
  - 2 トライノートは学校においておき、授業の合間に使ってもOKです。
    - トライノートは、本冊子の問題が抜粋されています。授業の問題などが早く終わり、時間があるときなどは、教科担任の先生の指示でトライノートを行ってもかまいません。さらに、家に帰って同じ問題に取り組むといいですね！
  - 3 授業が終わったら、その日の復習のつもりでできる所を少しずつ進めていくと定着につながります。言われたから行うのではなく、自分からどんどん取り組んでみましょう。
- これは一例です。教科担任の先生によって細かく指示が出されるので、自分のためにしっかり活用しましょう。

# 理科

## 家庭学習への取り組み方

- 1 授業のあった日は、復習に取り組みましょう。  
その日に学習したなあと思うことが理解できているか「ニュー・エンジョイワーク」(問題集)で確かめてみよう。

提出用ノートに答えを書いていってみよう。→答え合わせをしてみよう。

**ここから  
が大事!**

→わからなかったことや間違えてしまったことを確認しよう

(これを「<sup>分析</sup>分析」といいます。)

→同じ間違いをしないように大切なことをまとめておこう

(これを「まとめ」といいます。)

まとめ方は教科書・授業用ノート・問題集のまとめの所などを参考に自分でわかるように工夫しよう(後の例を参考に!)

- 2 学校が休日の日を使って1週間のまとめをしよう。  
良く理解できていなかった所をもう一度、問題をといて確認しよう。→口の中をくり返す
- 3 週末の宿題に取り組もう。  
学習内容の確実な理解と定着のために、その週の授業の内容に即した問題プリントを配布します。週末の午後学活までに宿題プリントを配布し、週の初めの朝学活まで指定のかごに提出します。回収したプリントは理科係が教科担任に提出して下さい。返却は火曜日までの授業もしくは午後学活までに行います。返却後のプリントは満点になるまでやり直しをします。やり直しをしたら、教科担任から指定された時間に提出しましょう。
- 4 テスト前の学習・・・テスト範囲全体をもう一度やりなおしてみよう。  
問題集に加え、授業の中で「単元テスト」を配りますので、それももう一度やってみよう  
→口の中をくり返す

**自信を持って  
テストにのぞもう!!**

- 5 テスト後の学習(これは毎回宿題になります)・・・テストの結果を分析・まとめをしよう。  
やり方は上の口の中と同じ! 同じ事でも何回もくりかえすことで必ず力になりますよ!!

このプリントの裏に先輩の提出ノートの一部を載せさせてもらいました。他にもいろいろな工夫が考えられると思います。自分なりに楽しんで勉強できる方法をどんどん見つけよう!

<最後に>...

いろいろな課題や問題を考えていくときには、必ず今まで学習したことや体験してきたこと、知っている知識を思い返して関係したことがないか探していこう。そうすれば覚えた事も繰り返し復習することになるので、どんどん力が伸びていきますよ!

英語は授業時間以外に触れることがほとんどありません。つまり週4回の授業のみということになります。もちろんそれだけでは十分ではありません。だからこそ力を入れるのは…

授業でしっかりと声を出す → 繰り返しの発音練習 仲間との対話練習

家庭学習で身につける → 繰り返しの音読練習 繰り返しの書き取り

になります。また、週に1日、何時間も時間をかけて学習するよりも、毎日30分ずつやる方が効果的です。具体的な方法としては…

### ① 教科書を繰り返し音読する

アルファベットは「音を表す文字」です。なので、発音できる単語はつづりも覚えやすいです。授業でも繰り返し音読練習をしますが、授業で練習した英文を家に帰ってからもう一度音読してみましょう。読めるかどうかの確認にもなります。すらすらと音読でき、英文の意味も分かり、教科書を見なくても読める（＝暗唱できる）くらい読みたいです。1回の時間は5分程度です。毎日繰り返すことが重要です。「継続は力なり」！

### ② 英文、英単語を繰り返し書いて覚える

①で覚えるくらいに読んだ英文を書き取りしましょう。すらすらと書けるでしょうか。書けない単語があったら、繰り返し声に出しながら書いてみましょう。そしてまた英文に挑戦してみましょう。授業で学習した教科書のページをすらすらと読め、何も見ずにすらすらと書き取れたら、「このページはしっかりと覚えた！」と自信をもって言えるでしょう。

### ③ ワークブックの問題を繰り返し解く

①②ですらすらと読み書きができるようになったら、問題集でそのページの復習をしてみましょう。そのページで習った新しい表現や単語、重要な英文が問題になっているはずです。家庭学習用の提出ノートなどに問題の解答を書いていくと、同じ問題に繰り返し挑戦できます。また、そのときにできなかった問題は、そのままにせず書けなかった単語や表現を再び練習しましょう。努力なくして向上はありません。だから同じ問題を繰り返し解くのです。

今年は辰野中英語科では、具体的な課題を授業で皆さんにお伝えします。例えば…

- ・今日はこのプリントをやってきましょう。
- ・今日はこのページを繰り返し音読したから書けるようにしてきましょう。
- ・今週中にこのプリントを書き取りできるようにしてきましょう。…など

また、昨年度までと同様に英語クラスマッチも実施します。重要単語や重要表現など、皆さんに身につけてほしいものを、「みんなもがんばっている。私もできるようにするぞ」とクラスの仲間の刺激を受けながら取り組んでもらいたいと思います。自分のため、クラスのために頑張りましょう。当然、家庭学習がクラスマッチに向けて、ということもあります。